



霧が丘

令和2年5月22日
横浜市立義務教育学校
霧が丘学園
校長 出口 晴基

あたらしい発見

中学部副校長 池上 太郎

先日、霧が丘連合自治会からマリーゴールドの花をいただきました。小学部・中学部それぞれ花壇に植えさせていただきました。以前あったパンジーもきれいでしたがまた違う美しさを感じ、臨時休校の中、緊急受け入れや課題の受け渡しに来校した児童・生徒の心を和ませています。



【中学部正門】

見る人をその美しさで楽しませてくれる花壇の中に、気を付けて見てみるといろいろな虫たちが花とともに命を育んでいます。普段何気なく花壇を見ていた私ですが、小学校に勤務したときに、校舎内でクワガタやカブトムシ、貴重な「国蝶」であるオオムラサキの幼虫を飼い、成虫へと変化する過程を観察する機会に恵まれました。その中で特に身近なところの身近な花につく、ツマグロヒョウモンというタテハチョウ科の蝶の美しさに魅了されました。私は理科教師としての観察魂にスイッチが入り、昆虫観察が学校での楽しみの一つとなり、それから、毎年時期が来ると注意深く花壇を見るようになりました。



ツマグロヒョウモンは花壇によくあるパンジーなどのスミレ科の植物に卵を産み付けます。卵からかえった幼虫は、黒色の体にオレンジ色の模様がいっています。一見するとこれは毒がある危険な幼虫かと勘違いしてしまう姿をしていますが突起で刺すこともなければ毒も持ちません。幼虫は、パンジーの花や葉をむしゃむしゃと食べて成長しま

【「し」の態勢】【金色の棘状突起】す。食べる姿も見ていて飽きませんが、幼虫から^{さなぎ}蛹になるとき、尾でぶら下がり「し」のような態勢をとるところや蛹になったとき背面に金属めいた金色の棘状突起が並ぶところは不思議でもあり魅力的でもあります。機会があったら観察してみると面白いと思います。

小学校に勤務し、昆虫に詳しい人との出会いがなければ、花の美しさのほかに花壇に興味深く魅力的な生物が存在することに関心を持たなかったと思います。身近にあって見えていないものはたくさんあるんだなと改めて思いました。

4月は入学式、進級式、始業式だけを行い、その後、2か月ほど休校になってしまいました。勉強、部活動、新しい友だちや先生たちとの出会いを楽しみにしていた皆さんは、この休校期間で不安に思うことがいっぱいあったと思います。学校再開後、一つ一つの出来事に自分ができる最大限の努力を是非してほしいと思います。いつどこで興味関心のスイッチが入るかわかりません。自分のいる環境で努力し、人との出会いを大切にすることで、自身が成長し、自分にかかわる人とのつながりを発展させて行くことができます。いろいろなことがいつもと違う今をあたらしい発見をするチャンスとして捉え、柔軟な発想と観察力で多くの未知と^{そうごう}遭遇してほしいと思います。